



RING HIROSHIMA 挑戦者及びセコンドの決定について

1 要旨

デジタル技術を活用した実証実験「ひろしまサンドボックス」の取組の一環として、社会課題解決やイノベーション創出に向けたスモールチャレンジを支援する「RING HIROSHIMA」の採択者を決定した。

2 対象者と支援内容

(1) 挑戦者

採用数	20件 (応募103件)
支援内容	① 実証実験費用の支援 (1件につき最大100万円(税込)) ② パートナーやフィールドとのマッチング ③ セコンドによる個別支援 ④ PR活動 ⑤ イノベーション・ハブ・ひろしまCampsの利用

(2) セコンド (メンター)

採用数	23名 (応募44名 (継続10名+新規34名))
支援内容	① 活動資金の支援 (10万円 (税込)) ② 研修プログラムの実施 ③ 様々なプロジェクトとのマッチング ④ 地域への貢献をサポート

3 スケジュール (予定)

令和4年 8月~令和5年1月	実証実験の実施
令和4年10月	中間発表
令和5年 2月	成果発表

4 事業内容

挑戦者	プロジェクト内容
荒賀 慎平 合同会社 gibierco	獣害被害を“食べる”で解決 ジビエのホットドッグを開発し、野生鳥獣の廃棄問題を食文化で解決する。
安西 翔平 合同会社 GeneLeaf	江田島デジタルアイランド化計画 江田島をデジタル教育・エンジニア養成の拠点とする。
板羽 孝則 株式会社 e ロボティクス広島	ドローンを活用した災害救助者探索・救助システムの構築 ドローンを活用し、要救助者の早期発見や災害現場の正確な状況把握を行う。
岩下 三希 県立広島大学大学院経営管理研究科	男性も PMS・月経を知る「Femnication Project」 PMS・月経に関するワークショップとフェムテック開発を行う。
大石 杏衣 株式会社 Kiwi	医療機器の“わからない”を解決する「キキサポ」 医療従事者が、機器使用法やアラーム対応を確認する Web サービスを開発する。
尾倉 侑也 一般社団法人 nukumo	指導者不足解決のためのサッカー指導のリモート化 部活動の地域移行に向け、リモート指導法を構築し、地域の指導者不足を解消する。
小山 昭則 歯っぴー株式会社	安全安心な飲食を提供するための衛生状態の可視化 手やドアノブなど、日常で接触する場所の衛生状態を可視化する。
加治佐 平 株式会社 WorldFryout / 東洋大学	血糖値から生活習慣とメンタルを管理する「Sympafit」 常時装着センサによる身体データ測定と健康指導の仕組みを構築する。
柴田 慧 comorebi studio	重井東港（尾道市因島）を新たな観光名所に 使用されなくなった重井東港の賑わい創出を行う。
柴田 未央 株式会社ユーブROOM	肌の常在菌検査にもとづく自分軸でのスキンケア選択 肌の常在菌から肌状態を分析し、個人に最適なスキンケアを提案する。
清水 雅士 マイクロバイオファクトリー株式会社	合成バイオ技術を活用したインディゴ染料の開発 インディゴ染料(デニム染)を、バイオマス由来原料から微生物発酵で生産する。
正田 創士 タチマチシコウ委員会	図書空間 2.0 ～本を介したやわらかコミュニティ～ 移動図書館を展開し、本棚オーナーと利用者のゆるやかなコミュニティを形成する。
高堰 うらら オモテテ株式会社	生理ライフを快適にする新しい都市インフラの展開 生理用品をトイレ個室で取得できるようにする新しいインフラを開発・普及する。
武林 みつき フリーランス	トラックで生演奏を日常に。Music Caravan -JAM- ウイング型トラックでコンサートを開催し、生演奏を身近にする。
辻 早紀 一般社団法人 One Smile Foundation	発達障害児向け獲得言語可視化アプリ 獲得言語を可視化するアプリで、言語聴覚士と福祉施設の連携体制を構築する。
福島 大悟 一般社団法人まめな	農業の草刈り作業軽減に向けた「Project Nozuchi」 レーザー照射による草刈り装置を開発し、農作業の負担軽減を図る。
宮井 ふみ子 株式会社 MMG インターナショナルサービス	公立小学校におけるミニミニ外国体験イベント 外国の街を体験できる子ども向けイベントで、外国文化体験と語学力の格差解消を図る。
目取眞 興明 MOTTAINAI BATON 株式会社	フードロス問題をレトルトカレーで解消「BATON CURRY」 規格外の食材を使ってレトルトカレーを作り、フードロスを減らす。
矢野 智美 KURU KURU	規格外米の高付加価値販売のための製粉化 粒の小さい「くず米」を製粉化することで、製品化する。
和田 法子 NOVELTaS / NPO 法人広島こども食堂支援センター	育児女性のエンジニア育成計画 時間的制約をもつ育児女性が、エンジニアとして就労できる仕組みを構築する。